



入居者審査委員会 報告

去る2月19日(金)午後1時30分から、インキュベーションセンター会議室にて、入居者審査委員会を開催いたしました。今回の審査会では、3月末日で入居期間が満了となる2入居者の「入居期間延長申請」に対して審査が行われました。審査会では、各入居者から「企業概要」、「研究開発の取組み」、「ものづくりに対する思い」について、15分間のプレゼンテーションをいただき、その後、審査委員と活発な質疑応答が行われました。審査の結果、入居者の「株式会社あおい」と「水野 睦夫」様の入居期間延長が承認されました。今回の審査結果を受け、入居延長を承認された入居者については、さらなる研究開発の推進が期待されます。

【審査結果：入居延長】

起業支援室 No	入居者名	研究開発内容	入居承認期間
4	株式会社あおい 代表取締役 菊地 大介	融雪舗装の開発	平成28年4月1日～平成29年3月31日
10	水野 睦夫	コンクリート構造物の長寿命化	平成28年4月1日～平成29年3月31日

—入居者募集—

現在、「起業支援室 No.5 (事務室タイプ)、No.6 (事務室タイプ)」の2室が空室となっております。研究開発、新事業の展開、起業化を目指す方は、ぜひお問合せください。

入居対象者：主として製造業を営む中小企業者で、福島県内、特に郡山地域テクノポリス圏域(郡山市、須賀川市、鏡石町、石川町、玉川村、三春町の2市3町1村)の産業振興への寄与が期待され、大学等との共同研究開発等を通じて、新たな事業の創出の促進に貢献すると認められる方(個人、法人を問いません)。

お問合せ先：(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 TEL 024-947-4400 FAX 024-947-4475 担当：猪股・佐藤(彰)

【HTML5fun】現場で使えるライブラリとJavaScriptの基礎 開催報告

Web サイト制作やアプリケーションの開発に、HTML5 や JavaScript (いずれも Web ページを作るための簡易プログラミング言語)の知識は必須です。

去る1月31日(日)午後1時より、郡山市民交流プラザにて、HTML5を使った制作・開発の楽しさを伝え、明日から使える技術と知識を身につけてもらおうというテーマで、セミナーを開催しました。【HTML5fun】は全国各地の団体とコラボレーションして勉強会を開催しており、県内では初開催です。地元からは、浪江町役場 復興推進課 情報統計係 山田直行さんが登壇し、浪江町タブレット事業とそのアプリについてお話いただきました。

日曜開催にもかかわらず、35名という多くの方にご参加いただきました。セミナーの内容は以下のとおりです。

■第1セッション

「JavaScriptの基礎を知り苦手意識をなくそう」
KDDI ウェブコミュニケーションズ 阿部正幸さん

■第2セッション

「浪江町タブレットで採用した、Cordovaで作るHTML5のAndroidアプリのしくみ」
浪江町役場 復興推進課 情報統計係 山田直行さん

■第3セッション

「Web フォント活用事例と導入TIPS」
ソフトバンク・テクノロジー Web フォントエンジニア 関口浩之さん

また、途中で設けられた「告知タイム」「ライトニングトーク(5分間の短いPR)」では、勉強会の案内、自分が取り組んでいることなどを発表していただき、大変盛り上がりしました。



NUBIC出前セミナーin(株)ザイン 開催報告

去る1月29日(金)、当財団とNUBIC[日本大学産官学連携知財センター(東京)]のコーディネーターが、郡山地域テクノポリス圏域 またその近隣の企業の皆さまのご要望に応え、直接 企業を訪問し研究シーズ、知的財産等を紹介する「出前セミナー in 企業」を開催しました。

今回は、金属プレス加工、金型の設計・製作等の産業分野で活躍している株式会社ザイン [郡山市富久山町]の会議室で、以下の内容で出前セミナー行われました。

■NUBIC 日本大学産学連携知財センターの紹介[沿革/事業推進体制活動状況]

■NUBIC の技術移転例紹介[局所照射 X線 CT 撮影方法及びその装置、実験動物用搾乳装置、つくし飴、ボラード(車輛の進入防止柵)、理科教材用組み立て分光器、生体外創治癒試験用用具(セル スクラッチャー)]

■セミナー：(株)ザインの要望に応じて、『摩擦圧接による異種金属接合技術[1.超音波を利用した異種金属接合技術、2.摩擦スポット接合技術/摩擦シーム接合技術、3.摩擦圧接による突起物の形成技術]』について日本大学の研究シーズが紹介され、これらのシーズに対する活発な質疑応答、技術相談が行われました。



アライアンス形成会議会員募集

当形成会議は、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構と連携のもと、アライアンス(企業連携)による受発注や研究開発の推進を図り、会員企業の成長発展と地域産業の活性化等を図ることを目的に、研究開発型企業等の経営者や幹部が集まる異業種交流会です。

平成28年1月末現在、46社が参画しており、アライアンス形成会議プレゼン会をはじめ、アライアンス(企業連携)による受発注や研究開発の場を定期的に設定し、活発に活動しております。

意欲ある企業の皆様方の入会をお待ちしておりますので、ご興味のある企業の皆様は、是非、担当までお問い合わせください。

お問い合わせ先

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構
TEL024-947-4400 遠藤

平成27年度 第2回技術等審査委員会の審査結果 地域技術起業化助成事業として1件を採択

平成27年10月1日～11月30日に応募があった助成事業について、去る2月9日に郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンターにおいて「技術等審査委員会」が開かれ、厳正な審査の結果、地域技術起業化助成事業として1件が採択されました。

—石質改質剤「リバイバル」の製造と販路開拓事業— 水野睦夫氏(当インキュベーションセンター入居者)

事業内容: コンクリート構造物の「カビ」「バクテリア」等の繁殖防止効果、劣化防止効果、黒ずみ等の変色防止や水垢除去効果を狙った石質改質塗布剤「リバイバル」の製造・ボトリング・販売。開業後、施工については技術指導することにより、塗装工業者、道路施工業者(土木・ライン・カッター等)、メンテナンス業者等に広く使用してもらう。また、アスベスト対策としてJRの関連企業と暴露試験中であるので、その効果により「NEW環境展2016」などに出席して広くPRし、販路拡大を目指す。

事業実施期間: 平成28年3月1日～平成29年2月28日

須賀川市ネットワークセミナー2016 開催報告

2月10日、グランシア須賀川を会場に「須賀川市企業間ネットワークセミナー2016」を開催し、約120名が参加しました。

須賀川市の石井副市長の挨拶後、国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 上席イノベーションコーディネータの近藤道雄さんにより「福島県における産業技術総合研究所と地元企業との連携について」と題するご講演いただきました。講演の中で、今年度第61回県発明展の最高賞である県知事賞を受賞した株式会社環境システムヤマノの「新しい融雪機能付き太陽光発電システム」についてもご説明いただきました。

また、須賀川瓦斯株式会社 取締役副社長の橋本直子さんによる「福島初・地域新電力実施の課題と対策」について、ドイツなどの先進事例を踏まえながら説明いただきました。



インキュベーションセンター視察

去る2月10日(水)、台湾から法政大学専門職大学院に留学され、現在郡山市にインターンシップ生として研修されているWu Mu Ping(ウー・ムーピン)さんが、郡山市産業創出課職員と共に当インキュベーションセンターを訪れ、施設の概要、建物内部の視察をされ、日本大学工学部の各学科棟や実験施設、研究センター等を見学されていきました。

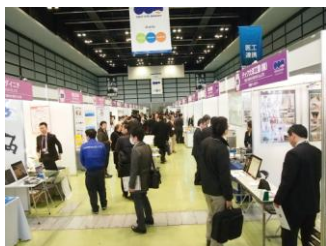


日本有数のものづくり産業集積地 東京都大田区を視察

東京都大田区は、京浜工業地帯の中核地と言わずと知れた日本有数のものづくり産業集積地です。研究開発や製品開発・難加工を得意とする中小企業が多い街です。

2月5日(金)、郡山市産業創出課の職員とともに「大田区産業プラザPIO」を訪れました。高度な技術の集積を誇り大田区産業を発展させるための支援機関として平成7年に設立された、公益財団法人大田区産業振興協会との意見交換を行ったほか、同日開催中の「おおた工業フェア」及び「モノづくり受発注商談会」を視察しました。

意見交換では当財団の概要説明と郡山市の現況を説明、大田区の取り組み等の説明を受け、今後の両財団が持つネットワーク及び情報を活かしていくことで合意しました。



おおた工業フェア



モノづくり商談会



会場の大田区産業プラザPIO



大田区産業振興協会との意見交換

発行元

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

TEL 024-926-0344 FAX 024-943-4441 E-mail monodukuri@nm.net6.or.jp

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構/郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

TEL 024-947-4400 FAX 024-947-4475 E-mail techno@nm.net6.or.jp

